地域を守る！	▶普及啓発・人材育成	レジリエンスに取り組むコミュニティを形成する

この取組のポイント

- ✓ 正しい火山知識を次世代に語り継ぐ
- ✓ 住民主体の火山防災活動

040 火山との共生を目指し、正しい知識や記憶を承継

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク	52 名	火山	北海道

これまでの有珠火山の噴火被害を踏まえ、正しい知識で地域防災力を強化するために平成 23 年に洞爺湖有珠火山マイスターネットワークが設立された。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

ネットワーク設立のきっかけ

- 20～50 年の周期で噴火を繰り返している有珠山地域では、火山との共生が大きなテーマとなっている。そこで、平成 20 年にジオパーク推進協議会と北海道が共同事務局となり「洞爺湖有珠火山マイスター制度」が開始された。これは、洞爺湖・有珠火山地域の自然について正確な知識を有する人を「洞爺湖有珠火山マイスター」に認定し、地域防災のリーダーとして地域防災力の向上を図るとともに、地域の魅力発信にも活かしていこうとするものである。
- 現在、マイスターの人数は 52 名であり、資格を得るためには、洞爺湖や有珠山の生い立ちや有珠山の火山活動に関することのほか、洞爺湖周辺地域の動植物に関する知識を有し、知識や経験をきちんと伝えられる能力が必要である。
- 平成 23 年には幅広く活動をいっていくために、「洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク」が認定者全員で設立された。このネットワークは、制度開始当初より防災教育や火山学習会等で認定者が精力的に活動してきたが、認定者が増えるにしたがって、情報交流や合同企画等の組織的な活動も活発化してきたため、相互の交流促進、防災教育普及、地域振興に寄与することを目的に設立された。

地域の防災力向上と地域の魅力発信を目指す取組

- マイスターには、地域防災のリーダーとしての役割もあることから、同団体は、地域住民や地元の学校の児童生徒や教職員、自治体関係者向け等に各種学習会や講演会を行っている。
- また、有珠山地域を訪れる北海道内外の修学旅行生や各団体の方々にも防災減災教育の普及活動を行っている。修学旅行生等には当地域で行われている火山防災活動を通し、それぞれの地域における防災活動というものを考えてもらうきっかけとなってもらうよう、取組を行っている。

児童生徒に対する普及活動の様子

他地域の火山防災活動の促進に寄与

- 「洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク」の取組を参考とするため、国内外から多くの方が視察で訪れている。特に国内火山地域からの視察により、「火山マイスター制度」をはじめたところもあり、検討中のところを含め、他地域の火山防災活動の促進に寄与している。

2 取組の平時における利活用の状況

- 同団体の地元メディアとの連携活動としては、地方紙「室蘭民報」における「火山マイスター日記」の連載（隔週）、コミュニティFM放送局「ワイラジオ」での火山マイスターによる洞爺湖有珠山ジオパークの情報発信番組（週1回）等が挙げられる。また、他の火山地域からの講師依頼や、地域外のメディアによる取材も増えている。地域内での知名度や評価が高まるにつれ、火山マイスターの受験を希望する人も増加している。これにより、有珠山周辺の住民が担う減災活動が活発化するなど、地域での好循環が生み出されている。
- 火山は噴火災害を引き起こす反面、過去の噴火が地域をつくり、産業をつくるなど長期的には大きな恵みが与えられている。同団体は、活動により住民の「我々は火山と共生している」という意識の喚起につながることを期待している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 有珠山地域の住民全員が正しい知識を持ち、万が一の場合にはそれぞれが自主的に行動し、人的被害を出さないように、防災・減災文化を地域に定着させることが同団体の目指すところである。そのために、同団体は幅広く人材を迎え入れ、多方面からのアプローチを試みている。
- 20世紀、有珠山は4回の噴火を起こしている。この間隔は、世代交代に相当するため、親から子への災害経験の伝承を、避難経験等の実体験をもとに行うことができる。噴火を忌まわしい過去として忘れることなく、今後も地域で語り継いでいくことが求められている。

4 周囲の声

- 火山と共生した素晴らしい取組で、火山マイスターが減災や人材育成等、ガイド以上の任務を実践している成功事例と言える。（洞爺湖有珠山ジオパーク再認定審査・審査員）

担当者の声

火山との共生を目指して活動を続けていきたい

- 火山活動というものは悪いことばかりではありません。過去の噴火が地域をつくり、産業をつくり出し、我々は普段その恩恵を受けて暮らしています。私たちの活動を通して、住民の方々には「我々は火山と共生している」という意識を持っていただけるようになってきています。
- 有珠山地域の住民全員が正しい知識を持ち、万が一の場合にはそれぞれが自主的に行動し、人的被害を出さないようにすることが、我々の目指すところです。

問合せ先

洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク　法人番号：—
TEL — FAX —　E-Mail toya-usu@volcano-meister.jp